



DNW-18002 の概要

課題番号 : DNW-18002

課題名 : 膠芽腫に対する新規治療剤の開発

主任研究者 (Principal Investigator) :

伊庭 英夫 (国立大学法人千葉大学真菌医学研究センター)

課題番号 DNW-18002 では、膠芽腫細胞の幹細胞性維持に必須の機能を有するタンパク質 X を標的として、新たな膠芽腫治療薬の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
膠芽腫細胞の幹細胞性維持に必須の機能を有するタンパク質 X を阻害することにより、膠芽腫の造腫瘍活性を抑制する。
- ターゲットプロダクトプロファイル :
既存の化学療法に治療抵抗性の膠芽腫患者をターゲットに、タンパク質 X に対する shRNA を発現するユニットを搭載した遺伝子組換えがん治療用ウイルスを用いて遺伝子治療を行う。
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI らにより報告されている。
1) 膠芽腫患者由来の膠芽腫細胞においてタンパク質 X の遺伝子発現をノックダウンすると、*in vitro* では、sphere 形成活性が失われ、*in vivo* では、マウス同所移植モデルで、その造腫瘍性がほぼ消失した。
- 創薬に向けたアプローチ :
1) タンパク質 X に対する shRNA を発現するユニットを搭載した遺伝子組換えがん治療用ウイルスを作製し、その機能を *in vitro* 及び *in vivo* で解析する。
- 最終目標 :
臨床応用に向けて研究開発を行う。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。